

[三菱ふそう] エンジン DPF 強制再生 (特殊機能選択時の場合)

概要

DPF 強制再生は以下の場合に行います。

- DPF フィルタに一定量の PM が堆積して、PM を燃焼する必要がある場合
- DPF フィルタ等の状態を確認する場合

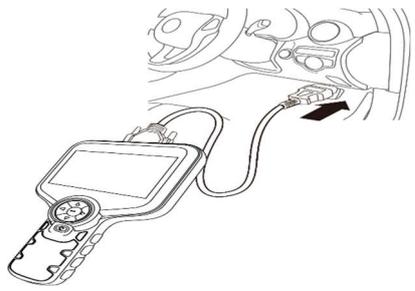
手順/操作

注意：

- 「特殊機能」より DPF 強制再生を行う際は、DPF 関連の故障コード読取・消去関連データ表示、DPF データリセットを自動的にスキャンツールが行います。よって、自動処理の出来ない故障コードやデータリセットが検出された場合、DPF 強制再生モードが中断され強制再生が出来ません。その際は通常メニューの「診断」・「車両選択」・「エンジン」・「故障コード読取」「作業サポート」より手動にて作業を行って下さい。

参考：

- シフトレバーを P レンジ(AT 車)またはニュートラル(MT 車または、P レンジのない AT 車)の位置にし、パーキングブレーキをかけます。
- エンジンをアイドリング状態にし、アイドリングコントロールノブによってエンジン回転数を上げている場合は、左いっぱいに戻してエンジン回転数を下げて下さい。
- アイドリングストップ装着車は、アイドリングストップスイッチを「OFF(解除)」にします。
- PTO 装着車は、PTO 作動を停止させます。

<p>1.</p>	<p>イグニションスイッチを OFF 位置にした後、ダイアグコネクタに TPM-5 を接続します。本体の電源が入らない場合、シガーライターケーブルを接続します。その後、イグニションスイッチを ON にします。</p>	
<p>2.</p>	<p>『TPM-5 メニュー』画面から [特殊機能] を選択して [ENTER] を押します。</p>	

3.

『特殊機能』画面から
 [DPF] を選択して [ENTER] を
 押します。



4.

『DPF』画面から
 [三菱ふそう] ⇒ [DPF点検] を選択して
 [ENTER] を押します。



『車両選択』画面から
 [キャンター] を選択して [ENTER] を
 押します。

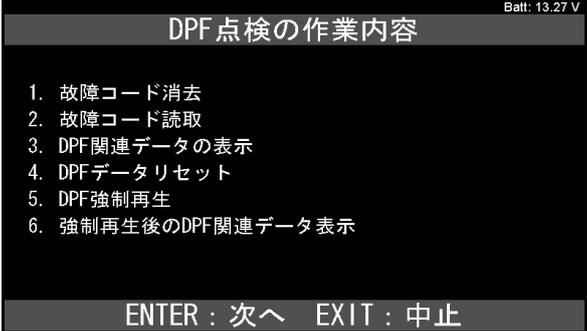
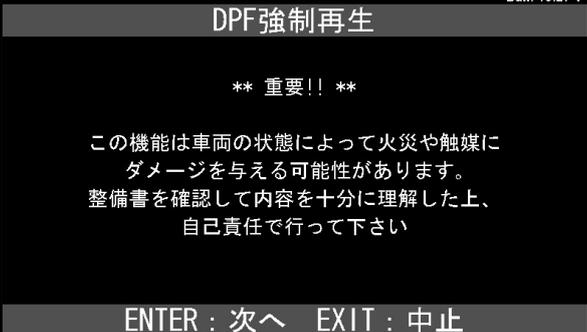


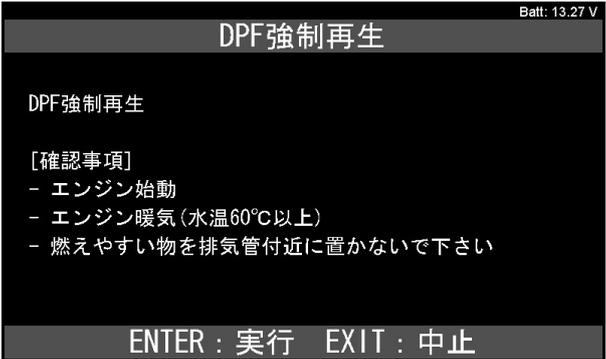
『年式選択』画面から
 [10モデル~] を選択して [ENTER] を
 押します。



『DPFメニュー』画面から
 [DPF点検モード] を選択して [ENTER] を
 押します。



<p>5.</p>	<p>『DPF 点検の作業内容』画面が表示されます。 表示内容を確認して [ENTER] を押します。</p>	
<p>6.</p>	<p>『DPF 点検モード』画面で 〔DPF 点検モードを開始します〕が表示された 事を確認して [ENTER] を押します。</p>	
<p>7.</p>	<p>『DPF 関連データモニタ』画面が表示 されます。表示内容を確認して【次へ】 を押します。</p>	
<p>8.</p>	<p>『DPF 関連データモニタ』画面が表示 されます。表示内容を確認して【次へ】 を押します。</p>	
<p>9.</p>	<p>『DPF 強制再生』画面が表示されます。 内容を確認し [ENTER] を 押します</p>	

	<p>表示内容を確認し [ENTER] を押します。</p>	 <p>DPF強制再生</p> <p>DPF強制再生</p> <p>[確認事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> - エンジン始動 - エンジン暖気(水温60°C以上) - 燃えやすい物を排気管付近に置かないで下さい <p>ENTER : 実行 EXIT : 中止</p>																																
<p>10.</p>	<p>続いて【開始】を押します</p>	 <p>DPF強制再生</p> <table border="1"> <tr> <td>エンジン回転数</td> <td>696 RPM</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </table> <p>開始</p>	エンジン回転数	696 RPM																														
エンジン回転数	696 RPM																																	
	<p>強制再生が終わると</p> <p>【完了】と表示されます。</p> <p>確認後、[ENTER] を押します。</p>	 <p>DPF強制再生</p> <p>完了!</p> <p>ENTER : 次へ</p>																																
<p>11.</p>	<p>表示される内容を確認して</p> <p>[ENTER] を押します。</p>	 <p>DPF関連データモニタ</p> <table border="1"> <tr> <td>前段酸化触媒前排気温度</td> <td>113 °C</td> </tr> <tr> <td>DPF前排気温度</td> <td>108 °C</td> </tr> <tr> <td>構成部品 'SCR触媒(後方)' の温度</td> <td>47 °C</td> </tr> <tr> <td>構成部品 'SCR触媒(前方)' の温度</td> <td>67 °C</td> </tr> <tr> <td>水温</td> <td>83 °C</td> </tr> <tr> <td>パティキュレート・フィルタ内の差</td> <td>0.40 kPa</td> </tr> <tr> <td>構成部品 'DPF' の差圧</td> <td>0.10 kPa</td> </tr> <tr> <td>エンジン回転数</td> <td>697 1/min</td> </tr> </table> <p>↑ 終了 データ保存 印刷 ↓</p>  <p>DPF関連データモニタ</p> <table border="1"> <tr> <td>DPF前排気温度</td> <td>108 °C</td> </tr> <tr> <td>構成部品 'SCR触媒(後方)' の温度</td> <td>47 °C</td> </tr> <tr> <td>構成部品 'SCR触媒(前方)' の温度</td> <td>67 °C</td> </tr> <tr> <td>水温</td> <td>83 °C</td> </tr> <tr> <td>パティキュレート・フィルタ内の差</td> <td>0.40 kPa</td> </tr> <tr> <td>構成部品 'DPF' の差圧</td> <td>0.10 kPa</td> </tr> <tr> <td>エンジン回転数</td> <td>697 1/min</td> </tr> <tr> <td>パティキュレート・フィルタのスス</td> <td>0.03 kg</td> </tr> </table> <p>↑ 終了 データ保存 印刷 ↓</p>	前段酸化触媒前排気温度	113 °C	DPF前排気温度	108 °C	構成部品 'SCR触媒(後方)' の温度	47 °C	構成部品 'SCR触媒(前方)' の温度	67 °C	水温	83 °C	パティキュレート・フィルタ内の差	0.40 kPa	構成部品 'DPF' の差圧	0.10 kPa	エンジン回転数	697 1/min	DPF前排気温度	108 °C	構成部品 'SCR触媒(後方)' の温度	47 °C	構成部品 'SCR触媒(前方)' の温度	67 °C	水温	83 °C	パティキュレート・フィルタ内の差	0.40 kPa	構成部品 'DPF' の差圧	0.10 kPa	エンジン回転数	697 1/min	パティキュレート・フィルタのスス	0.03 kg
前段酸化触媒前排気温度	113 °C																																	
DPF前排気温度	108 °C																																	
構成部品 'SCR触媒(後方)' の温度	47 °C																																	
構成部品 'SCR触媒(前方)' の温度	67 °C																																	
水温	83 °C																																	
パティキュレート・フィルタ内の差	0.40 kPa																																	
構成部品 'DPF' の差圧	0.10 kPa																																	
エンジン回転数	697 1/min																																	
DPF前排気温度	108 °C																																	
構成部品 'SCR触媒(後方)' の温度	47 °C																																	
構成部品 'SCR触媒(前方)' の温度	67 °C																																	
水温	83 °C																																	
パティキュレート・フィルタ内の差	0.40 kPa																																	
構成部品 'DPF' の差圧	0.10 kPa																																	
エンジン回転数	697 1/min																																	
パティキュレート・フィルタのスス	0.03 kg																																	

12.

これで全ての作業が正常に完了しました。
[ENTER] で終了します。



※ **特殊機能から『DPF 強制再生』を行う際、自動的に消去の出来ない故障コードがあります。**
消去のできない故障コードが検出されると、特殊機能が中断されます。
その後、通常メニューの診断よりお進み頂き故障探求が必要となります。

参考： 以下の場合はエンジンオイルを交換して下さい。
● エンジンオイル量を点検し、エンジンオイルの量が多い場合。

エラー

通信に失敗すると、右の画面が表示されます。
整備書で条件などを確認して、
もう一度行って下さい。

